

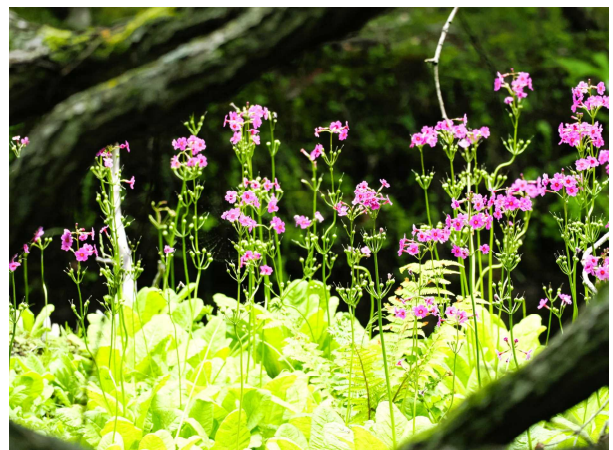
令和7年度「苫小牧自然観察会（北大研究林）」（主催）の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	苫小牧自然観察会・北大研究林 駐車場～山草園～樹木園～灌木園と周回	
開催日時	2025（令和7）年6月15日（日）10：00～12：00	
天 候	曇～霧雨（微風） 日最高気温16.3℃ 日最低気温14.4℃ （アメダス苫小牧）	
参加状況	一般参加者：20人、ボラレン：8人 ☆下見会 6/7（土）4人	
観察記録 主なもの	草 本	カキドオシ、クリンソウ、コウライテンナンショウ、サクラソウ、ズダヤクシュ、フタリシズカ、
	木 本	アカエゾマツ、イチイ、ウラジロモミ、オウゴンヒバ、オガラバナ、カンボク、キウルシ、キャラボク、コウヤマキ、クロミサンザシ、サワラ、シウリザクラ、ズミ、チョウセンゴヨウ、ツリバナ、ツルアジサイ、ツルウメモドキ、トチノキ、バイカウツギ、ハリギリ、フッキソウ、ヒノキ、ブナ、ミズキ、メタセコイア、ヤチダモ、ヤマボウシ、ヨーロッパトウヒ（ドイツトウヒ）、ライラック、リギダマツ、
	シダ他	オシダ、ニッコウシダ、スギゴケ、地衣類（ウメノキゴケほか）、
	野 鳥	アオジ、アカハラ、キビタキ、ゴジュウカラ、センダイムシクイ、ツツドリ、マガモ、
	その他昆虫等	灌木の花にススメバチ、ガガンボ、ユキムシの幹母（ヤチダモの葉を丸めて） ＊エゾシマリス ＊肌寒かったせいか、蚊に刺されることはなかった模様。
感想など	・あいにくの空模様も、地元苫小牧をはじめ札幌、岩見沢などから熱心なファンが集まる。 ・地元在住のボラレン会員がメインガイドとなって最大20人まで対応可との意向で進行したが、やはり負担が大きいことから、今後は、分担の見直しなど班編制も柔軟に対応へ。 ・場所柄、樹木ウォッチングの様相。樹名版が整備されており、普段よりも一歩踏み込んだ解説、参加者とのキャッチボールが楽しい観察会であった。エゾシカの被害から、ミズバショウやザゼンソウが消えたとの参加者談も。シカが好まない植物（有毒）の一つクリンソウが見事に花を咲かせていた。コウライテンナンショウ、フッキソウも多い。 ※主な解説ポイント～ご当地・苫小牧市の街路樹（①ナナカマド②クロマツ③シナノキ④ハルニレの順に多いこと）、針葉樹とは？、針葉の数、葉の感触、松かさ、落葉する針葉樹の種類、落葉の仕方、トウヒ類とモミ類の特徴、キャラボクとイチイの違い、樹幹から新葉を出す針葉樹、つる性木本の特徴、葉の出方や葉の形状（特徴）、幼木〔実生〕、灌木園の鹿柵のこと など多岐に。 ＊反省会、解散後／有志で再度エリアを広げて観察交流。 シマリス、クリンソウの群生、イワオモダカ、ミヤマノキシノブなど着生シダ類も。	



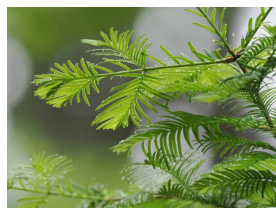
「開会式」 苫小牧市北大研究林駐車場広場



クリンソウ



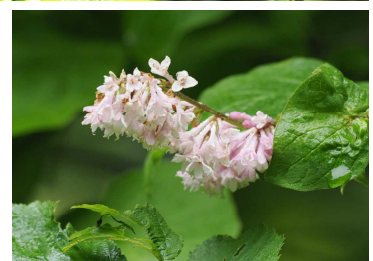
カンボク



メタセコイアの葉



バイカウツギ



ハシドイ（於：灌木園）

（記録と写真：蔵谷徳洋、石田浩基、事務局）